(九日夕刊)
磐城新聞
休刊 大祭日第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料 二行五十錢(指定廿錢增)
發行兼編輯印刷人 遊沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社

豫算編成を前に 苦しい平の財政
巨額の町債と負擔過重 或は制限外課税

平町昭和四年度豫算編成は二月早々着手することになり目下種々下調査を行つて居るが現在の町債は約八十萬圓に達し同町としては相當重荷とされてゐる爲この

町債償還 には年に少からぬ支出を要するので豫算編成には一大苦勞をする爲町當局では今から頭痛をやんでゐるが從來の町税は營業收益税にのみ制限外課税をして居たが今年からは更に特別戸數割附加税にも制限外課税をすることとなりはしないかと觀測して居る向きもありこの豫算編成には各方面から非常に注目されて居る、然しこの豫算編成の頭は恰も町長の改選があり續いて

助役の改 選があり殊に今春町會改選期をひかへ何づれも再起勃々たる矢先とて改選には大影響を及ぼす事は明かなので如何なる方法で陣容を整へ昭和四年度豫算の編成されるかは頗る興味ある問題で注目されて居る

依頼狀を發送して 求人口を開拓
小學校卒業期を前に 平紹介所が多忙

平職業紹介所では三月の小學校卒業期を前にしてぼつ/\少年職業紹介に取かゝらんとしてゐるが今月中小學校との連絡を圖る爲め紹介所内に關する準備打合せ會を開催し紹介の完備を期する見込みであるが少年の職業が決定するのは大抵卒業の前後となりそれまでに大分日數があるのでその期間中紹介所では專ら求人口を開拓する豫定であつて近く求人先と見られる目星い官衙銀行會社、工場、商工家と業家等に開拓に關する依頼狀を發送することにしてある

植田納税組合
十日より積立開始

植田町上町では豫てより奬勵中の納税組合が決定につき赤塚久治、大友新一、永山溪吉、江尻亦三氏等發起となり舊臘中組合員募集中であつたが組合員十八名に達したので左記役員を定め十日より積立を開始する筈である

會長赤塚久治、常任理事永山溪吉、大友新一

回春園に理想の 金子病室愈々竣工
川合園長熱心に努力 全治患者も增加

石城郡豐間村の縣立回春園に金子病室を新築工事中の處この程いよ/\落成したの新装、三病室は各室六疊敷で規模として廣大なものではないが室の兩側にベランダを附しすべて理想的の設計で今後は從來の五十二ベッドに三個を加へ合計五十五名を取容し得る筈であると、因に最近は各患家に於いて肺病に對し或程度の理解をもつに至つたゝか入園期を遲延させる樣な事が少くその結果入園患者の死亡率が驚くべき激減を示しつゝあると大正九年以來足かけ十年間薄倖なる患者のために終始一貫獻身的の努力を拂ひつゝある園長醫學士川井重之氏は語つた

小川農事講演 上下

小川村組合村農會主催の農事講演會は來る十一日午前十時より下小川村長福寺に於て開催すると

筆劍合同の 新年宴
十九日谷口で

在平日刊新聞記者と平警察署との恒例による筆劍合同新年宴會は來る十九日午後四時より平町谷口樓に於て開催することに決定したが中區裁判所、檢事局の出席もある筈である

子鍬倉神社 近く竣工
二月上旬遷宮

工費八萬圓を投じ一昨年六月から着手した平町縣社子鍬倉神社は磐銀休業その他の事情から一頓挫の形であつたが八ヶ月の日數と一萬五千人の延人員とを以て愈々今月下旬落成することになつたので同社拜殿新築中村社八坂神社に遷して置いた御神體は二月上旬に古式に法り盛大な遷宮式を擧行することになつたが祭典は諸種の都合から同社の例祭たる五月七、八の兩日に執行する豫定であると

茨城縣人會
昨夜谷口樓で

石城郡在住茨城縣人會の總會を兼ねた新年宴會は八日午後五時より平町谷口樓に於て開催役員選擧の後宴に移り十二分の歡を盡して十時散會したが新任役員は會長金成通、副會長岡部掬、幹事以下略

讀者欄
俺の愚痴初め
阿呆太郎

新年早々愚痴るものではないと思つてはゐるがさて我慢が出來ないからといふ、金が欲しい、が誰一人札束を投出して呉れる人などはあらう筈がない、誰がその邊に一萬圓も落して行く人がないかとウロ/\して歩いても落ち居るのはせい/\馬の糞、それと電柱と衝突して全治一週間の打撲傷を負ふが關の山

さうだからといつても金が欲しいのは山々で、いくら稼いでも借金のたし前をしてゐる現在金を呉れる人も落して行く人もないとすれば金のなる木でも見付ける外はないが、金のなる木はお伽話ならぬこの世にはありさうもない

この身をつぶしにして金にならぬものならと思つて肉を買ふ偉い人もないし、殊に骨と皮許りの身を買ふ馬鹿もない『夕涼みよくぞ男に……』といふ句があるが惡く男に生れたものだと悲觀せざるを得ない、これが女ならば千や二千の金になる身、男に生れたのが口惜しい

思案餘つて在京の知人に『田舍は狹いよ』と云はれて東京へ飛出して見た、なる程東京は廣い然し命が惜しくて金が欲しい現在の身には東京で落ちた金を拾ふことを止めにしなければならなかつた

萬策盡きて氣分轉換策として動物園へ行き金などにアクセクしない動物のノンキな顔でも見ることにする

昭和四年一月二日の動物園内象もゐる猿もゐるまあ/\人間よりは幸福さうな顔をしてゐるではないか

狐もゐる、この狐の前に來た時占めたと絶叫せざるを得なくなつた、金が出來ることゝなつたんだ金が出來るんだ千や二千の金は今すぐ出來るんだ、狐大明神

狐は化る、化くついでにきれいな女に化て貰ふそれを人肉の市へ賣る、玉がいゝから三千圓位には大丈夫なる、やはり東京だ、こんな所に金があるのではありませんか、今までの顔色は一變し生色みち滿ちたりといふ具合になつた勇氣凛々として歩く足音も高さよ

さて立會!このきづねをつけ出す方法はどうしたらいゝでせうか、またばけさせるにはどうしたらいゝでせうか。

金がほしい、金がほしいしかし唯一のきづねをばけさせる方法を知らない結局田舍に歸つて馬の糞のにほひをかんだり電柱と喧嘩するのが一番賢いことがわかりかけた金があつて居る人は憐いと思つて毎日々々金を落すのが人助といふことはどうにわかつてゐたか。

昨年の濱三郡
最高が鰹の三十四萬圓 第三期漁獲調べ

濱三郡における昨年八月から十月に至る第三期漁業成績は總數量百十三萬四百二十四貫この價格八十萬千九百六十二圓に上つた、これを前年同期に比較すると大豐漁の爲數量に於て二十三萬五千二百六十八貫價格に於いて十五萬七千二百三十圓を各增加したがこれを各漁類別に見れば次く如くである

種別	數(貫)	價(圓)
鰛	二四八、七三八	二九、七三三
鰹	四〇四、二七一	三四九、八二三
鰤	四、五八三	三、五二五
鮫	三、六八二	一、九二〇
比良目	一〇、八九九	二、五四三
鯛	四四、六〇一	九七二八五
鰈	八、〇三七	一〇、〇三三
鮪	三、八六五	六、六二四
秋刀魚	三六一、三一九	一九六、二九八
章魚	一三、二五三	一九、三六七
鮑	三八六	九二一
すずき	四五七	九一五
比寄	二、二六〇	一、六九五
雜魚	二五、六〇五	六二、五〇二

講談 幕末秘帖 狂想亂心 (129)
渡邊默禪作　宮野歌春畫

「モシ、母さま」と勘太郎は慌てゝ其の裾に縋つて「私が惡うございました、勘辨なすつてくださいまし」と涙を呑み「母さまのおつしやることに、お言葉に二つはございませんのを、殘念の餘りに飛んだ無調法を申し上げましてございます」

飛退つて兩手を突きながら「それでは今日限りお暇を仕ります」と咽返つて「後の所は萬事宜しいやうに分けて御病氣勝いお弱いお父さま、萬望お氣をつけくださいまして御介抱をお願ひいたしまする」と疊に泣伏して了つた

「いえ、後の所はね、決して御心配には及びません。不束ながら私がお付き申してゐる上は、どんな事があつても傍から指をさゝせはしません、ちやアお前さんも、身を大切にね、そして何處へ行きなさる心算なの」

お萬の機嫌は直つた

勘太郎は顔をあげて「ハイ、何處といふ的もございませんが、いづれ行先が定りますればお知らせ致します、それに就きまして母さま御承知のお君の身も何とか處置をつけてやらなければなりませんから、是より一寸別莊の方へ參りまして、今夜中にお立退くことにいたしますか、是だけは御許しくださいまし」

いかにも力の脱けた聲音だ

「そんなことは構いません何なら、今晩だけ別莊にお泊りなさいな併し明日はお爺さまがお客さまをお招きになさるさうですから遲くとも朝の中にも立ちなさいましよ」なさけある辭

「有難う存じます、それでは母さま、お、お別れを……御機嫌よう」

「お前さんも壯健で……あゝお氣の毒なことねえ」

名殘の眼に四邊を看回してしほ/\と立上る勘太郎の路からお萬は人知れず送り出して、故意と裏門から出立させた。聽て涙の中に分つ袂から/\と耳門の戸を閉めると、大きな欠伸が出た。

「ねね、お君、そういふ譯なんだから、お前には實に濟まないけれども、一時の間親元へ戻つて又との時節を待つやうにして呉れ、長い間でもあるまいその内には私の證明か立つてきつと歸參が叶うだらうからその節には必ずお前を迎へにやる、濟まないけれども、ねお君、そうして呉れ、さ、茲に母さまから戴いて來た金が三百兩ある、此の内私の當座の小遣錢が百兩もあれば澤山だからあとはお前の化粧料、お爺さんへのお土産に持つてつて呉れ、ア、詰らない惡縁だつたなア」

その夜に於る藤屋の別莊は、いつになく陰鬱の空氣に蔽はれた。奧座敷の襖の上に、薄れた影を落させ竹細工の小行燈を中間に置いて勘太郎とお君とが悄然と坐つたなりに、悲し氣な話をしてゐる。

お君は重さうに俯垂れた顔を右の手で支へて愁然と聞いてゐたが、頓てひよいと顔をあげて

「いやです、いやなことです、私家へなんぞ歸りやしまアせんわ」と突はねるやうに言ふ

「ど、どうして?」

勘太郎は聊か面喰つて「何故歸らない、歸つて呉れなくちやア困るぢやないか」と慌てた聲だ

明日の吉凶
舊暦十一月三十日　新暦一月十日

▲一白 上下の意見取捨に迷ふ日舊來の業は盛りに向ふ▲二黑 滯りなく物事すら/\と進む日但し口舌注意▲三碧 一時的の巨利を夢みるは凶常業は順調に進む▲四綠 來れる好運を取逃さぬ樣油斷なくはげむべし▲五黃 奮起勉勵すべし引込思案を守る時にあらず▲六白 位置高くして心の落付かざる日飲食も注意▲七赤 あせりの生ずる日進むには十分注意すべし▲八白 願望成就する日人より持込まるゝ事利益化す▲九紫 運氣定まらず吉凶交々至るの日内に守るが安全

大和家吉例(じうよんばん)
壹圓會
御料理五品 御銚子一本付
本日より一月中忘年會、新年會は是非弊店へ御願致します
(大蒲燒) 十四番(やまこや)
南町電話

御試食なさいましたか
末廣の鳥料理!!!
新年會
大小宴會
相變らず末廣を御利用下さい
◎座敷廻り女中入用
割烹 末廣
電話 [illegible]

平町紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番

移轉披露
ライト寫眞館
業務擴張の爲め左記の場所に移轉し
理想の寫場が完成いたしました
引續き御愛顧を願上ます
平町才槌小路 魁文堂東隣り
ライト寫眞館
電話八四七番

子守さん募集
一、年齢 十五六才
一、某炭礦所長宅
一、行儀作法も教へます
右御希望の御方は磐城新聞社に御申込下さい

平町紺屋町
吉田眼科醫院

磐城病院改稱
市原病院
平町田町(電話一一四番)
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

營業種目
内地材 材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材調達
請負 其他
(百) 佐藤材木店
常磐線平町新川町
電話三三五番

新築落成
耳、鼻、咽喉科 (專門)
氣管食道科
平町南町(舊診療所向電一七〇番)
大和田醫院
大和田郡司
◆自炊の便あり

前年より激減した 平地方の犯罪
それでも毎日三件以上 平署去年の統計

別段自慢の種にもならない犯罪の多い島で東北六縣中でも有名な平警察署管下昨年中に於ける犯罪統計は此の程大体調査を了したが此の統計に依ると犯罪總數は千百九十八件で檢擧總數千三百七十三件と言ふ膨大な數字を示してゐるが即ち平町外四町十八ヶ村には毎日三件以上の各種犯罪が行はれた事となつてゐるが此れを前年度に比較すれば犯罪數に於いて百三件の減少を見せ犯罪別にして見ると矢張り第一位は△窃盗で六百三十六件即ち總數の半分以上に達してゐる譯であるが前年よりは百六十四件の大增加△次ぎは詐欺の百八十件であるが此れは六十三件の大激減△賭博が六十三件で三件の減△傷害が六十一件で五十三件の大激減△横領が五十四件で四十一件の減と言ふ割合になつて居り此の統計から見ると詐欺、横領、傷害、等件等が激減してゐるが窃盗が大增加と言ふ結果になつてゐる尚聞くだに恐ろしい殺人事件が僅に二件で前年より五件の激減であるのに對し強盗事件が五件で昨年よりは一件の增加を見せてゐる

約六十八人を數へる 平局の女從業員
今年から力を入れて 專ら待遇の改善

平郵便局に於ける電話交換孃や事務員その他女の從業員は約六十餘名に達し當局では之れ等の優遇方法について萬遺憾なきを期してゐたが更らに今回遞信省では從業員に對する豫算が思つたより削減もされないので局員から交換孃まで大喜び まづ通信現業員勞働條件改善費として額が八十萬四千圓で之は今迄の局員の間違ひや病氣の原因だつた一日通しの勞働制が國際勞働會議の規約により八時間制に變更されたゝめである其の上に今迄は勤務あけの休みだけであつたが今度は從業員に月に一度の公休を與へ費用三萬五千圓が計上された七萬圓の從業婦人…電話交換手女事務員女工掃除婦等に對しては今度姙婦保護のため一萬圓の費用が計上され出産前後に休暇を取つて日給支給される〃は既婚婦人には非常な福音で其の他思想善導保健等のための講演娛樂設備パンフレット出版等のために一萬五千圓が計上されて居る

お約束に違はず 明年は第四校
是非共南町の裏地に けふ新築委員會

平町第三小學校新築決定に際し立町南町の二派に分れ同校舍敷地の猛烈な爭奪戰を行つた爲當時町當局でも敷地決定に於し少からず手古擂つた揚げ句南町には昭和四年度に第四小學校を建設すると云ふ條件に依つて該爭奪戰を解決し第三小學校を立町に新築する事となつたので第三小學校は七萬八千圓を以ていよ〳〵來る十五日頃から新築工事に着手することになつたが同校竣工後條件通り續いて第四小學校の新築に取りかゝらねばならぬので今九日午前十時から第四小學校新築委員會を同町役場に於て開催敷地選定の件を附議決定する事であるが第四校は元新川筋東部電力株式會社瓦斯工場附近とされてゐたが地形並に通學兒童の關係から元郡役所裏邊にその敷地が決定されるのではないかと見られてゐるが同所附近は南町の略中心地なので一般に同所が最も希望されてゐるから結局元郡役所裏附近になる模樣である

鈴木縣議の 慰勞宴
十六日谷口で

石城政友俱樂部有志は過般の通常縣會にたいて幾多の地方問題を提げ逆善戰健鬪を續けた縣議鈴木辰三郎氏のため來る十六日午後五時より平町谷口樓において慰勞の清宴を催す筈であるが出席者七十名の見込であると

學校に賊
四倉署で捜査

石城郡四倉町字平町四倉尋常高等小學校に四日午後十一時頃覆面した一名の賊が忍び込み事務室內を物色して教員の所持品を竊取し更に宿直室に入つた處を宿直の高田教員に發見され其儘何れかに逃走した、屆出に接した四倉署で直に犯人の捜索に着手したが未だ捕縛されない

公賣廣告

滯納者　石城郡田人村　合名會社　小野三協社

右國稅滯納ニ付キ左記財産ヲ來ル一月十八日公賣ス詳細ハ當稅務署ニ付キ照合セラレタシ

左記

一、石城郡田人村大字南大平字小室四十四番　山林反別貳反七畝十九歩ニ對スル所有權合名會社小野三協社持分ニ係ル七分ノ一

昭和四年一月七日　平稅務署長

新築委員會
第三校敷地買收

平町第三小學校の新築工事は愈々今年度から着工する事に決定したので敷地の正式買收交渉の爲め昨八日平町では第三小學校新築委員會を召集し地主に對して正式交渉ノ具体案に就いて協議する處ろあつた

四倉米商協議
精米料金値下

石城郡四倉町動力使用米穀商組合では六日午後二時から新年宴會を兼ねて動力使用に關して協議を遂げたが其內容は確知せざるも最近電壓不足勝ちで精米能率に大影響あるので會社に向つて之が善後策につき交渉すべく尚ほ米價暴落に際して幾分の料金値下げ方も懇談すべき樣子である

歌留多に苦情
少年少女の心を亂す 當局の眼が光る

平町地方の新年は植めて平穩に明け新年宴會等の恒例事もそこ此處に內々相當活氣を呈してゐる一方若い青年者流間にはピンポンや撞球等の室內遊戲も相當の勢ひを以て擡頭して來たが一方少年少女の正月の室內遊戲の一つであるかるたは年々その數が非常に增し今年などは數十種にあまりある程で各繪本屋、繪葉書店玩具店に美しくならんでゐるが、これ等の中には少年少女の教育資料といふものゝ風規上如何はしいものが多數あり當局の考慮を要するに至つた而して少年少女も從來の「犬も歩けば」式のかるたには倦怠を來して繪の面白い文句の奇拔なのに手を出す結果、新版かるたのみ賣れ行きがよく遂に子供達の純な感情をみだすものとして當局では此種のかるたの發賣の禁止を命じようとの論が起つてゐると

訓盲院に寄附
平町

聚樂館に於て四日開催した記念音樂會主催の慈善演奏會は同好者一般の後援を受け盛會に終つたが純益金は同會の本旨により會長東晃氏はこの程平町訓盲院に寄附方申出でた

養鷄組合
飯野村に組織

石城郡飯野村では今回養鷄組合を組織し飼料共同購入鷄卵鷄肉の共同販賣其の他の斡旋を爲す事となつたが役員は左記の諸氏を選任した

組合長箱崎才三郎、副組合長藤岡齊記、幹事山崎安雄外六名

磐中の寒稽古
中町

磐城中學校では年中行事の一つとして柔道、劍道の寒稽古を來る十一日より三週間午前五時より七時までの二時間擧行するが皆勤者には銅メダルを賜る筈で最終日には紅白試合を爲すと

植田軍人分會

植田町在郷軍人分會では分會長鈴木八右衛門氏が這般辭任したるにより一日總會を開いた結果會長及副會長を左の如く選擧した 會長齋藤治尾、副會長鈴木彌郎

少年の盜み
活動見物歸りに

石城郡內郷村大字高坂磐城炭礦坑夫定次郎長男同村宮小學校五年生山內健次郎(三假名)は六日平町に活動寫眞を見物に來ての歸途驛前平デパートメント・ストアー李渡邊源吉方の店先から雜誌、萬年筆其他を萬引して逃走した處を平署員に取押へられ取調をうけたが少年の事なので嚴重に其の不心得を諭し歸宅せしめ

平町の官私學校に 退學者續出
磐中さいも既に三十名 由々しき社會問題

平町に於ける現在の各官私立學校は數校に及び縣立、私立ともに縣下有數の地位にあるが昨今男女各校を通じて退學者の激增したことは驚異に價するものがあり某私立校の如きは本年始業以來四十餘名の退學者を出して學校側に於て極度に狼狽して善後策を講じてゐるがこれが原因に就て磐中山崎教頭は語る

『近年不况に地方は極度に疲弊した結果學童の家庭に於ても學費等に困難を來たすものや到底將來教育をなし得る見込みなく半途退學さする外餘儀なき結果となつたのであらうが殊に農村の子弟が大部分を占め當校でも本年になつて二十餘名の退學者を見ましたが三四年の生徒も多く退學する者はすぐさま就職する傾向があり在學中は授業料等に滯納勝ちな生徒が出て由々しき問題である

平窪村の晝火事
精米所から發火して 學校近くの騷ぎ

今九日午前十一時二十五分頃平窪村小學校前の木田精米所木田作次郎方裏手から突如發火したので小學校生徒が發見大騷ぎとなり同村消防組が消火に努めた結果同十一時五十分同精米所一棟を全燒して鎮火したが平署から係官出張原因損害等目下調査中であるも小供等の弄火ではないかと言はれ白晝の事とて折柄授業中であつた同村小學校附近では一時非常な大騷ぎであつた

蛇の傳說と娘の縁
巳年に因む話

大抵の地方にはその地方獨特の傳說といふものがあります、元より傳說ですから、その眞僞の程も又その由來の程も明らかではありません、只その土地の人々の迷信や臆說や想像が手傳つて、誰が拵へたとも云へない一つの話題を作つて行くのです、從つて神秘的なものがその材料に使はれ易くなるのです、この點、魔物扱ひにされてゐる蛇、即ち今年の「巳」などは最も傳說につかはれ易いものの一つ、そして、しかも皆一種の邪淫的な處を持つてゐます、これはその形やその性格がその樣にしたものでせう、それ等一二を述べませう

越後 の國のある村に、立派な庄屋さんがゐました、この庄屋さんに今年十七になる美しい娘さんがゐました、年頃もなつてからは、餘り外へも出やうとはしませんでした、が、その姿を垣間見た人達は、村には惜しい美しさに、つい一目惚をしてしまふ程です、親達も、一人娘のことですから、婿を取る迄大切な身體と、箱にも入れん許りでした、ところが、ある夏の夜のこと、親達は娘の部屋から一種の唸り聲の洩れるのをきゝました、何んだらうと行つて見ますと、丈六尺許りの大蛇がやゝ寢亂れた娘の胸ぐら、腰へからみついて居ります、ハッと驚いた父親は死物狂ひで蛇の頭をつかみ庭石の上へ叩きつけました、娘は死んだ樣になつてゐます—やがて、二刻もすると裏山の樹々がざわ〳〵と鳴り渡ると見ると二丈程もある蛇を先頭に何百何千の大小の蛇が鎌首を持ち上げて進んで來ます

その**中央**をよく見ると先刻自分が叩きつけた蛇がゐます、庄屋は最早觀念の臍を決め、縁にピタリと兩手をついて蛇を叩きつけたいきさつを頭とおぼしい蛇に申しました、すると、その大蛇は鎌首の向をかへて先刻の蛇の處へ進み矢庭に他の蛇もこれにならつて、ガブッとかぶりつきましたそのちやなたうとう嚙み殺しました、

近江の國の比良山の麓に櫛ケ池といふ始終青い水を湛へた池があります、この池には古い傳說があります、昔この池の邊を村の美しい草刈乙女が馬に乘つて通りました、この池の主は稀に見る大ヂヤ、若い女子を好むのでした、ふと水の中から上を見ると美しい乙女の白い足が馬の背にブラ〳〵してゐるのを見つけました、大ぢやは、矢も楯もたまらず池を飛び出しましたがそのはずみに

馬の 蹄に頭を蹴られ死んでしまひました娘は大した事とも思はずその翌日今度は歩いて池の邊を通りかゝりましたが、幾十の青い火を吹いたぢやが現れ恐怖に聲も出ない娘を池に引ずり込まうとしました、娘は何の防ぎ物も持ち合はないので髮の櫛を拔いて、それを逆手に戰ひましたが力及ばずたうとう池の底に沈んでしまひました、後には齒のこぼれた櫛が一つ浮いてゐたといふことです、その村の乙女の間では新しい櫛をその池に放つてやると美しい乙女の顏が水底に映るといはれてゐます

酒屋さんも同樣に 仕込み時の苦心
賣掛金の回收不能で 破産者も出でん

平稅務署管內清酒は不景氣にも拘らず割合に賣行き良く豫想以上に達してゐるため今年度仕込は最初の見込みよりも增加するものと見られるが各酒造業者は何づれも昭和二年以降の貸付が回收不能に陷つて居りその金額が相當多額に上つてゐるので中以下の酒造家は四苦八苦の狀態で金策に狂奔した結果稅金のみは大部分納付濟みとなつて居る然し中には貸付の五割以上が回收不能になつてゐるものもありその內四五人の酒造業者は殆ど破産に頻せんとしてゐる有樣で今年四五月頃までに財界が好轉しなければ破産者が續出するのではないかと見られて居る

課外教授
磐中上級生 國漢、英數の

磐城中學校五年生は來週始めより上級學校進級準備の爲め課外教授として午前まで授業をなし午後より重なる學科の國漢英數の教授を爲す筈である

小圓の落語
古河勞働者慰安

好間村古河炭礦々業所ノ自治會では勞働者慰安の爲め來る十二日夜と十三日晝との二日間に亘つて小館俱樂部に東京より三遊亭小圓を招き落語の口演を開く筈である

一日一人
伊坂員正氏

前平町長として令聞あり今は所謂晴耕雨讀閑生涯を送る伊坂氏、世相の變遷を聞くとイヤ夫れはお話にならん異り方だ、前提して『私等の子供時代は男子が婦人と文通なぞをしようものなら早速勘當と云ふ風で友人仲間からは擧骨を見舞れる騷ぎ、然るに此頃の青年流ときたら夫れが出來ねば一種の恥辱の樣に考へてゐる、劍道は武術の修業で運動なぞしては何ない春と秋に山へでも登ろう者は勉學を怠る風痢者として一概に斥けられた、今日の樣に體育看板で夏は海、冬はスキーに毬投げと棒振りさい達者なら學問はどうでもよいと云ふ變り方には驚ろき拂つてゐますよ

有志各位に謹告

縣會議員鈴木辰三郎氏慰勞の爲め新年懇親會を開催致し度く左記要項に依り奮つて御出席下され度候

一、會場　平町谷口樓
一、日時　一月十六日午後三時
一、會費　貳圓五拾錢

申込所　磐城新聞社　電話五八四番

各位　發起者一同

電話開通廣告

電話百拾番　平町南町　織田材木店　スズラン撞球場

近火御見舞御禮

本日近火の際は早速御見舞ひを賜り誠に有難く紙上を以て御禮申上候

平窪村　辰之伯

白馬の雪　辰之口本舖　松本德一　電話七五番

當十日替リ映畫御案內

プログラム

松竹下加茂作品　梅若礎三郎　泉千子主演　仇討三羽烏　全
劔江戸崎に於ける武名を以つて鳴る豪快　慘風悲雨　亂戟

松竹蒲田超特作　牛原虛彥監督　鈴木傳明　八雲惠美子主演　彼と東京　全
憧れの都生活　誘惑…歡樂…戀の渦中

日活超特作　志波西果監督　大河內傳次郎　梅村蓉子主演　平手造酒　全
時は天保十二年秋十月秋既に深し　尼僧院物語　劔と涙の晶篇

十日曜學生デー　日活　松竹　平館

內科　小兒科　其他一般（入院隨時）
前田醫院
植田町本町（電話一二四番）
前田清美
（看護婦見習優遇募集）